

地域振興に向けた協働の場づくり  
～福岡市美野島地区の事例から～

平成 17 年入学  
文学部人文学科人間科学コース  
社会学・地域福祉社会学専攻

平成 21 年 1 月提出

## 要約

本論文の問題意識は筆者の個人的経験から生まれた。商店街の小さな小売店が次々とチェーン店にとって代わられたり、商店街がシャッター通りと化したりという現場を見たことから、地方都市における地域の衰退を止め振興へと転換させるためにはどのような手段が有効なのか、という問いを立てた。その手段として着目したのが「協働」である。実際に協働を行っている福岡市博多区美野島でフィールドワークを行い、「協働の場づくり」に有効な要素を発見するのが本論文の目的である。

第 1 章では、都市部における地域衰退の現状とそれに対する対策について記述した。まず、地域衰退を経済的衰退と地域コミュニティ衰退の 2 面から捉え、それぞれについて先行研究やデータを用いて説明した。次いで、地域衰退を食い止め振興へ転換させる「地域振興策」について触れ、行政・企業・地縁組織など単体による振興策に限界があることを明示した。ここで地域振興を行う新たな主体として NPO 法人と、NPO が得意とする「協働」という地域振興の形態を取り上げた。従来の地域振興策が行き詰まりを見せるなか、NPO や協働が注目されているのである。NPO 法人を中心とした地域振興に向けた「協働」の事例としては、NPO 法人ハットウ・オンパクによる取り組みを挙げている。

第 2 章では、フィールドワークを行った福岡市博多区美野島地区の地域特性と、これまでのまちづくりの歴史を概観した。美野島地区では近年、商店街の衰退と新たな大型マンションの建設による新住民の増加という地域の変化が起こっている。その変化を受けて、地域の団体や NPO を中心にまちづくり活動が行われてきた。まちづくり活動は大きく 6 つのステップを踏んでおり、本文ではそれぞれの内容を紹介した。更に、美野島のまちづくりに関わる「NPO 博多まちづくり」事務局長への聞き取りを掲載した。

第 3 章では、美野島の協働の事例「美野島まちづくりショップゆらりん」と「街なか観光振興モデル事業『あ・るっく福岡』」という 2 つの取り組みについて、フィールドワークに基づいた記述を行った。「美野島まちづくりショップゆらりん」は NPO 博多まちづくりが実際の運営の主体であるコミュニティショップで、自治協議会、まちづくり協議会、商店街の人たちが運営会議に参加するという形の協働事業である。「ゆらりん」の事業内容や、

現在抱える課題などを本文で紹介している。「街なか観光振興モデル事業『あ・るっく福岡』」は福岡商工会議所が主催するまち歩きマップとまち歩きツアーを核とするプロジェクトで、商店街や地域の団体、福岡市などが参加する協働事業である。筆者は、2回の会議と1回のスポット視察、2回のまち歩きツアーに参加し、それぞれの内容をまとめた。

第4章では、本論文の主題となる「協働の場づくり」という概念を提示した。本文ではまず協働の利点と問題点を整理した。利点として①それぞれの主体の長所を生かし、欠点を補い合える点②パートナーシップが拡大される点③資金面の問題が解決される点、を挙げ、大きな問題点としては協働する主体同士の不調和が発生する可能性があることを挙げた。利点を生かし、不調和を起こさない協働を行うためには単なる協働関係を結ぶだけでは事足りず、特定の条件を備えた「協働の場づくり」を行う必要があることを指摘した。美野島の2事例は主体間の不調和が起こっておらず、協働の場づくりが意識的・無意識的に行われていたはずであることを明示した。美野島の事例を考察していく一助として、協働の一形態としてのコミュニティビジネスについても触れ、コミュニティビジネス相談員の方への聞き取りも掲載した。

第5章では本論文のまとめとして、美野島の協働の事例から協働の場づくり有効な条件を導くことを試みた。まずフィールドワークから得た美野島の2事例の協働の形を整理し、それぞれの特徴を列挙した。見出された特徴の中で主だったものを、2事例両方にあったもの、「ゆらりん」のみにあったもの、「あるっく」のみにあったものに分類した後、協働の場づくりに有効な条件として一般化した。全般的な協働の場づくりに有効な条件は、協働のイニシアティブの所在を明確にすること、継続的な話し合いを行い、ビジョンの共有を図ること、行政との資金面の協働を検討すること、元来行われてきた地域振興策のモデルを有効利用することの4点。協働関係形成のパターンとして有効なパターンは、地域のパートナーシップを協働関係に移行するパターン、地域を超えた協働関係の中に、元来からパートナーシップのある主体同士を組み込むことで「橋渡し」「仲介」という役割を形成するパターンの2パターン。補足として地域コミュニティ外部から地域振興の協働の場に参入する場合は、地域を助けるスタンスで、客観性も忘れないことが重要となる。

最後にフィールドワークからは得られなかったが、協働の場づくりに必要だと思われる点を補足し、今後の展望も記した。

## 目次

はじめに .....	1
1 章 地域衰退の現状と対策 .....	3
1 節 地域の衰退 .....	3
1-1 地域の経済的衰退 .....	3
1-2 地域コミュニティの衰退 .....	5
1-3 地域衰退の要因 .....	8
2 節 地域振興策の様相 .....	9
2-1 様々な主体による地域振興策 .....	10
2-2 NPO を中心とした協働～「別府ハットウ・オンパク」を例にあげて～ .....	11
2 章 福岡市博多区美野島地区のまちづくり活動 .....	15
1 節 美野島地区の地域特性 .....	15
1-1 美野島 1・2 丁目 .....	15
1-2 美野島 3・4 丁目 .....	17
2 節 美野島地区のまちづくりの歴史 .....	19
2-1 美野島地区まちづくりの歴史概略 .....	20
2-2 NPO 博多まちづくりの方への聞き取り .....	21
3 章 美野島における協働の場づくり～フィールドワークを元に～ .....	25
1 節 「美野島まちづくりショップゆらりん」 .....	25
2 節 街なか観光振興モデル事業「あ・るっく福岡」 .....	28
2-1 商工会議所の方への聞き取り .....	27

2-2 美野島地区の「あ・るっく福岡」 .....	31
2-2-1 第2回マップ会議.....	31
2-2-2 見どころスポット視察.....	33
2-2-3 第3回マップ会議.....	35
2-2-4 美野島地区まち歩きツアー.. <b>エラー! ブックマークが定義されていません。</b>	
4章 協働の場づくりと協働の形態 .....	44
1節 協働の利点と問題点.....	44
2節 協働の一形態としてのコミュニティビジネス .....	45
2-1 コミュニティビジネスとは .....	45
2-2 コミュニティビジネス相談員への聞き取り .....	47
5章 協働の場づくりに必要な条件～美野島の事例を受けて～ .....	52
1節 美野島の2事例の協働の形態 .....	52
1-1 「美野島まちづくりショップゆらりん」 .....	52
1-2 美野島地区「あ・るっく福岡」 .....	53
2節 協働の場づくりに有効な条件 .....	55
おわりに .....	60
参考文献・資料.....	62